

住まい・まちづくり支援建築会議全体会議シンポジウム

「まちづくりの潮流～市民参加のまちづくりから巨大開発まで～」

まちづくりの流れは時代とともに変化してきている。時代を映す鏡であるとも言える。

戦後の復興期は住宅数を確保することに追われていたが、それが一段落した 1970 年代頃から、住民・市民が参加して進めるまちづくりが芽吹き始め、現在では一般的なものとなって定着している。一方で、バブル期以降、様々な場面で規制緩和が行われ、都市開発も巨大化していく。ミクロに見れば計画的な開発も、マクロで捉えると無計画なものに見えるなど、わが国の都市のチグハグな状況は、特に東京などの大都市では至る所で見ることができる。

このシンポジウムでは、多様なまちのコンテキストや長いまちづくりの歴史を持つ世田谷区のまちづくりについて、保坂展人区長にまず基調講演で大いに世田谷区のまちづくりに対するお考えを語っていただき、その後、住まい・まちづくり支援建築会議メンバー2人との鼎談を通して、世田谷区から考えるこれからのわが国のまちづくりのあり方・方向性について考えていきたい。

主 催 : 一般社団法人 日本建築学会 住まい・まちづくり支援建築会議

日 時 : 2016 年 2 月 29 日 (月) 14:00～16:30

場 所 : 建築会館 3 階会議室 (東京都港区芝 5-26-20)

参加費 : 無料

定 員 : 80 名 (申込順)

申込み : Web 申込み <https://www.aij.or.jp/index/?se=sho&id=1340>

問 合 せ : 事業 G 担当 : 三島 mishima@aij.or.jp

プログラム :

進行 : 野澤 康 (住まい・まちづくり支援建築会議運営委員会副委員長 / 工学院大学)

記録 : 浅野 聡 (三重大学)

1. 開会挨拶 (5 分) 中島正愛 (住まい・まちづくり支援建築会議会長 / 京都大学)

2. 趣旨説明 (5 分) 野澤 康 (前掲)

3. 基調講演 (60 分) 「世田谷区のまちづくり ～太子堂から下北沢、二子玉川まで～」(仮)
保坂展人 (世田谷区長)

(休憩 10 分)

4. 鼎 談 (60 分) 「世田谷区のまちづくりから日本のまちづくりの将来を語る」
保坂展人 (前掲)

松村秀一 (住まい・まちづくり支援建築会議運営委員会委員長 / 東京大学)

小林正美 (同上教育・普及部会長 / 明治大学)

5. 閉会挨拶 (5 分) 松村秀一 (前掲)

以 上